

# 村山市長、「特に申し上げることはない」

## UPZ研究会アンケート結果、30<sup>+</sup>圏内自治体の事前了解権必要は81.4%

柏崎刈羽原発から30<sup>+</sup>圏内（UPZ）自治体議員等で組織するUPZ研究会は、UPZ内自治体は原発再稼働に関して事前了解権を持つべきだとして、「30<sup>+</sup>圏内自治体と東京電力との安全協定を見直すべきだ」と運動を進めています。先日は同研究会が行ったアンケート調査結果が公表され、「原発から30km圏内に住んでいることに対して、70%近くが不安感を持っている」こと、「事前了解の必要性についても81.4%が『必要』と答えている」ことが明らかになりました。

こうしたなか、関係自治体の首長がど

ういう見解を示すか注目されていますが、16日の市議会一般質問で日本共産党議員団の上野公悦議員は、「こうした結果に対してどう思うか」と質問しました。答弁に立った村山市長は、「アンケートの個々の結果については、特に申し上げることはございません。記者会見で花角知事は『一般論として、原子力発電所に対する関心を持っていただくことは、むしろ大切なこと』との見解を述べたが、私も知事と同じ認識だ」とのべました。これでは、逃げの答弁です。もっと正面から答えてほしかったですね。



## 「ドイツ体操チームの事前合宿受入れ中止せず」と教育長

新型コロナが収束どころか広がりを見せているなかで、「東京オリンピック、パラリンピックは中止、または延期を」の世論が高まっています。

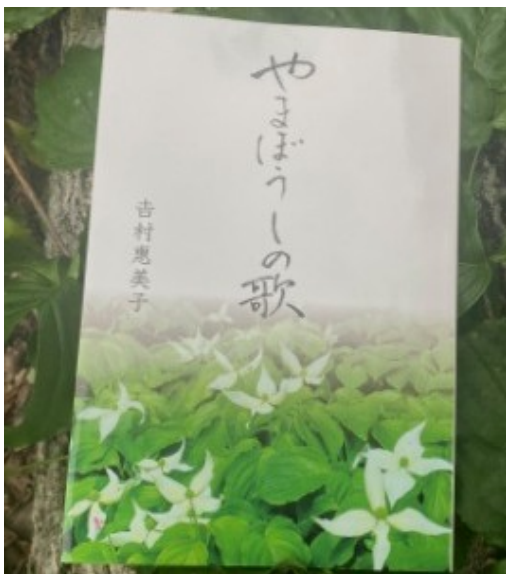
上野議員は、「国民の7割以上が五輪の延期・中止を求め、ボランティアも既に1万人以上が辞退している。こうした中でのオリンピック・パラリンピック開催についてどう考えているか」「ドイツ体操チームの事前合宿受入れや交流事業を計画しているが、計画どおり行うのか」と早川教育長に質問しました。

早川教育長は、「開催については、様々な課題が指摘されていることを承知しており、大会主催者等によって万全の感染症対策が行われた上で、安全で安心な大会が行われることを期待している」「当初の計画どおりドイツ体操連盟から

7月上旬から下旬にかけて事前合宿を実施したいとの連絡を受けている。ホテルの1つの階の借り切りとか、検査も毎日行うとか、対策は万全に行う。ただ、どんなものであっても誰かの犠牲の上に行うものではない。万一危険な場合は中止もありうる」とのべました。



【ニワフジ】 マメ科の落葉小高木。漢字で「庭藤」と書きます。背丈は40<sup>cm</sup>～60<sup>cm</sup>、横は50<sup>cm</sup>～80<sup>cm</sup>ほどに広がります。花期は5月から6月。赤紫色の花を咲かせます。花言葉は「恋に酔う」「しなやかな体」。実際の花に出会うとうなずけます。写真は6月9日、吉川区小苗代の田んぼ付近の道を歩いて見つけました。



### 介護の日々、1冊の本に

市内寺在住の吉村恵美子さんがこのほど、亡き夫との介護の日々を綴った「やまぼうしの歌」（北越出版、税込み1000円）を出版しました。感動の1冊です。

吉村さんは29年前まで吉川区の山間部にいた人です。本は事情で店頭には並びません。私のところにも少しあります。ぜひお読みください。



子どもも大人も大歓迎です。集合後、近くの山に移動し、ゼンマイの葉などを使って飛行機を作ります。約一時間の予定です。雨天中止。

- 参加費は無料。マスク着用
- 長靴・ハサミ持参して下さい。
- 呼びかけ人は私、橋爪です。
- 集合場所 吉川区総合事務所 駐車場
- 日時 6月27日（日）午前10時
- ぜんまい飛行機作って飛ばす会に参加しませんか

# はしづめ法一の活動レポート

No.2016 2021.6.20

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第六六三回

## 三十三観音

吉川区町田から頸城方面へと車を走らせると左側に杉林が見えます。先日、初めてこの杉林の中を歩いてみました。

杉林へ行くため、県道の広くなったところに車をとめると、そこからは吉川区の町田、六万部、西野島、頸城区の畑ヶ崎が見え、遠くには米山さんがよく見えます。

県道を挟んで、この広い場所と反対側に小さな「三十三観音」の案内板があります。この案内板のところから入って、杉林の中へと続く道は、車からも見えます。いつ、この場所を通っても、きれいに整備されているので、一度は歩いてみたいと思っています。

今回、この道から奥へと進んでみようと思ったのは、何か素敵な野の花に出合える予感がしたからです。

予感はすぐに当たりました。案内板のところから数歩歩いてだけで、タツナミソウに出合ったのです。ガマズミの木の下で、四、五本、花を咲かせていました。

タツナミソウはシソ科の植物、花の形が独特で、一回見ただけで覚えてしまします。草丈は二〇センチ〜四〇センチほど。花は筒状で青紫色、先が丸く膨らんでいます。二十数年前、吉川区山方地内での花を初めて見かけた時、私はツバメの子どもたちを連想しました。親ツバメがエサを運んできたとき、子ツバメたちが巣の中からいっせいに顔を出す姿にそっくりだったからです。

杉林の中の道は少し砂利が入っていて、しっかり固まった土(つち)の道です。道の両側には一五センチから二〇センチほどの杉がまっすぐに伸びています。ピストピストピストという小鳥の鳴き声が聞こえます。下の県道のさらに向こうの田んぼからでしょうか、カエルたちの鳴き声も聞こえてきました。

二分ほど歩くと、「薬師堂」に至る石段のところに着きます。緑色のコケ類が広がり、近くにはシダ類が多くありました。

様々な明るさの緑色と茶色でつくられた簡素で落ち着いた空間を見ると、何となく時代劇で見る風景を思い出します。

「薬師堂」入り口を過ぎてすぐの所に「慈眼視衆生・福聚海無量」という言葉が彫られた石柱があります。いきとしいけるものをやさしく見つめ、海水のごとく福を集める。何と素敵な言葉でしょう。

そしてさらに三分ほど歩いて階段を上すると、急に平らになって、開けています。そこが「三十三観音」のある場所でした。階段を登りきった場所から見ると、石で造られた観音様が左側から右側へコの字型に並んでいます。いずれも赤い前掛けをつけていました。

左側から一つひとつ見てみようと、一番目の観音様のところへ行くと、細長いトンボがすーっと飛んできて、案内してくれました。観音様はいずれも目をつむっていて、一八番目、二八番目のように右の耳に手をあてたもの、首を右側に倒したものと様々です。これは人間のあらゆる苦悩を慈悲の心で包み込んでくださることと関係があると言われています。

この「三十三観音」が置いてある場所は、縦五段、横一五段ほどの広場です。いまから二百六十年前、一八一五年(文化一二)に、畑ヶ崎の布施助二良がつくったと言われます。二百年以上にわたり、多くの人がこの場所を訪れ、平和と幸福を祈り続けてきました。静けさに包まれたなか、観音様に手を合わせていると、気持ちも落ち着き、身も心もきれいになっていきます。

「三十三観音」からの帰り、少し杉林の高い方へと足を伸ばしました。そこではムラサキゴケと出会いました。花言葉は「あなたを待っています」。一所懸命に生きていても、なかなか悲しみや苦しみが消えていかない。そんなとき、「三十三観音」を訪ねてみてはいかがでしょうか。

## 大島中生徒が田植え体験

大島中学校の生徒が10日、田植え機を使った田植え体験をしました。場所は大島区大島の住宅地に近い田んぼ。ここは埋まりやすい田んぼですが、先生や農協職員等が見守る中、上手に機械を操作していました。初めての操作で緊張しているかと思ったら、何か楽しそうでした。田んぼではドローンを飛ばし、動画撮影もしていました。田植え体験の記録にしようというのでしょうか。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月9日(水)	6月16日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.053	0.053
名立分遣所	0.050	0.053
高士分遣所	0.053	0.053

## 8日は中郷、9日は桑取・谷浜が舞台



NHKの人気番組、「こころ旅」。今日8日は中郷区の片貝がメインでした。そして翌9日は、桑取、谷浜地区です。よく知っている風景が次々出てきて、興奮しました。イラストは、土口で自転車を走らせる俳優の火野正平さんを描きました。